

※「おおた教育ビジョン」「南蒲小学校ホームページ」を参考にご記入ください。

## ○ 本校の概要

令和8年1月23日

## ○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

1 ページ

一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します	個別目標3 (40,51)	<p>○道徳授業地区公開講座→10/11</p> <p>○生命尊重週間 →命の大切さについて学ぶ授業を行う 【令和7年度 生活指導重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつをしっかりとしよう」</li> <li>・「廊下は右側を歩こう」</li> <li>・「名前に“さん”をつけて呼ぼう」</li> </ul> <p>○読書活動 →図書ボランティアどんぐりによる土曜お話し会 学級本棚の設置、学級文庫の配布</p> <p>○音楽鑑賞教室→7/3（5年）</p>	3.29	<p>【A～Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p>
		<p>○大田区学習効果測定→4/25（4～6年）</p> <p>○学習力カウンセリング →夏季休業中の個人面談において、学習効果測定の結果や日頃の学習状況について保護者に伝える</p> <p>○習熟度別少人数指導 →算数において学年を習熟度別クラスに編成し、授業を行う</p> <p>○補習教室（算数） →1年…毎週火曜 2年…毎週金曜 3.5年…隔週火曜 4.6年…隔週金曜</p> <p>○タブレット端末等を活用した家庭学習 →各学年の実態に応じて実施</p> <p>○大田区漢字検定→2/16</p>	3.36	<p>【評価についてのコメント】 (職員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下の本棚が好評で、本を読む姿が多く見られた。</li> <li>・食育の授業で、こどもたちが給食を残さず食べようとする意識が高まった。</li> <li>・駅伝における教員の指導体制や代表児童の選考について検討する。</li> </ul>
		<p>○体力調査結果の分析による体育授業改善、楽しい運動習慣の確立 →全学年で統一したなんぼ運動、整理体操 体育の模範授業を参観、共有し、授業改善を行う</p> <p>○小学生駅伝大会 →週1回朝学習の時間に5分間走を実施 大田区小学生駅伝大会5年連続優勝（5.6年生選抜）</p> <p>○健康教育 →「早寝・早起き・朝ご飯」習慣の取組（5月、10月） 学活や保健において健康に関する授業を行う</p> <p>○食育指導 →学活や生活科において食に関する授業を行う</p>	3.29	
学校力・教師力を向上させます	個別目標4 (52,59)	<p>○保幼小連携 →保育園、幼稚園との交流授業 就学前の引継ぎ</p> <p>○1年学級支援活動 →1年学級への支援員の配置 給食ボランティアによる給食準備等の補助</p> <p>○保幼小連携運動遊び指導者研修会 →低学年担任が夏季休業中に研修に参加</p> <p>○小中一貫教育 →連携校である東蒲中、東蒲小との授業参観 生活状況調査（5.6年、中学1～3年） 進学前の引継ぎ</p>	3.35	
		<p>○ICTを活用した授業の充実 →ICT支援員を活用し、タブレット端末を利用した授業を実施 夏季休業中において、ICT研修を実施</p> <p>○教科担任制 →全学年で実施</p> <p>○専科配置 外国語…5.6年 音楽…1～6年 図工…2～6年 家庭科…5.6年 少人数算数…1～6年</p> <p>○校内研究を柱とした組織的な授業改善 →『よりよい学校生活を目指し、合意形成を図る児童の育成～互いの意見のよさを認め合う話し合い活動を通して～』 【学級活動の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・児童の意見を踏まえ、学級目標を決定</li> <li>・毎月「知・徳・体」についての目標を児童が設定</li> <li>・学級や学校の課題を自分たちで見付け、考えを話し合う</li> </ul> <p>○授業力向上に向けた研修の充実 →授業力や指導力の向上を図るため、月1回OJT研修を実施 全教員が授業力を向上させる取組として、年間4回の研究授業を実施 いつでも授業を参観し合える教員の関係づくり</p>	3.24	<p>【A～Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p>
		<p>○学校の情報発信 →ホームページ 学校だより（学級だより） classroom まなびポケット 学校公開</p> <p>○職層に応じた校務分掌やOJT →次年度への引継ぎや職層を考慮した人事配置 主任教諭や若手教諭が中心となって運営するOJT研修</p>	3.08	<p>【評価についてのコメント】 (職員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の配布をtetoru活用し、徐々にペーパーレスにしていきたい。</li> <li>・支援員の人材確保が課題である。</li> </ul>
		<p>○教員支援員の配置 →年間で固定した人材を配置することで校内事情を把握して支援にあたることができる</p> <p>○ICTを活用した事務の効率化 →会議資料を電子化するとともに、会議時間を縮小し、日頃から情報共有するシステムを構築 職員が使用・持ち帰ることができるタブレット端末が2台、校務端末と同等の機能がある持ち帰り端末が学校に3台配備</p>	2.95	
		<p>○夏季休暇等取得推進日 →8/7～8/21 留守番電話対応 教員の日直当番廃止</p>		

自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します 個別目標5(60〜69)	困難のある児童・生徒が自分ひとりの状況にあわせて生活するための教育の環境を整え、支援するとともに、相談機能の充実を図ることで、	○知的障害特別支援学級→5組(R4より設置) ○通級指導学級 →弱視…東調布第三学校 難聴、言語障害…北嵯谷小学校 ○特別支援教室→サポートルーム(拠点校) ○特別支援教育に関する研修 →年度当初に5組、サポートルームについての機能を周知するとともに、夏季休業中に特別支援教育についての研修を実施し、より理解を深める ○特別支援教室と通常の学級との交流 →5組の児童は各学級に所属し、朝の会や一部授業、行事等に一緒に参加する	3.38	【A～Dの中から1つお選びください】 A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)
		○学級集団調査WebQU →児童やクラスについての状況を把握するための調査を年2回実施し、学級経営の改善を図る ○いじめの未然教育・早期発見・早期対応 →児童アンケート(各学期に1回) 日頃の担任との関係づくり 副担任等、誰にでも相談してよいというアナウンス 開かれた保健室、校長室 ○警察との連携 →必要に応じて、すぐに連携を図ることができる体制作り ○校内の居場所づくり・登校支援員 →教室で過ごすことができない児童に対する居場所の確保(相談室や保健室等) 安心できる居場所づくりと学級に戻ることができるようにする支援(場合によっては外部との連携) 一人で登校できない児童に対する登校支援員の配置 ○ケース会議 →必要に応じて、会議を適宜設置	3.44	【評価についてのコメント】 (職員より) ・5組の児童と各学級の交流がいろいろな場面できている。
育柔環境をつくり出す学習空間と安全・安心な教 個別目標6(70〜75)	上を学推 させ進推 する設た ためのつ といて 教育に、 推児IC 進童T し・環 ま生境 す。の 安全 全育 安境 心の 整備	○地域の拠点としての特色ある学校施設の整備 →トイレの完全洋式化 ○学校図書館の充実→図書整備 ○校内防犯体制の充実→避難訓練等において、職員の行動を確認 ○学校給食における食物アレルギー対応 →年度当初にアレルギー対応児童を共有、給食の配膳を別にする	3.5	【A～Dの中から1つお選びください】 A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)
		○防犯教育・防災教育 →月に1回、避難訓練を実施(地震、火災、引渡し、一斉下校、不審者、Jアラート、二次避難、津波等) ○交通安全巡回指導 →月に1回学級指導 登下校の歩き方、遊び方、危険な場所の確認等	3.5	【評価についてのコメント】 (職員より) ・いろいろな避難訓練の形態があり、臨機応変に対応する訓練ができている。
と学校 として の家庭 学校・地 域の連 携・協 働によ る地域 コミュ ニティ の核 個別目標7(76〜81)	全づ地 域域 でりコ ミ ュ ニ テ ィ を進 む た る と の 核 と し て 学 校 の 学 校 家 庭 づ く り 地 域 や 地 域 の 連 携 ・ 特 色 を 生 か し 地 域 の 社 会 校	○令和6年度よりコミュニティ・スクールを設置 →学校運営協議会の設置 ○地域との連携 →新教科「おおたの未来づくり」における連携 2.3年町探検 登下校見守りボランティア ○学校施設開放 →3か月に1度、施設開放会議を設置	3.29	【A～Dの中から1つお選びください】 A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)
		○児童誘導員の配置 →登下校、遠足、社会科見学、移動教室等の見守り、誘導 ○地域の見守り →登下校見守りボランティア ○通学路における安全点検 →年度当初、担任による児童の通学路確認 年2回、巡回による地域の安全点検	3.48	【評価についてのコメント】 (職員より) ・いつもPTAの方々にご協力いただき助かります。 ・ボランティアの募集などご協力いただきとてもありがたかった。 ・コミュニティ・スクールの委員の方々と授業や行事などで関わっていただけるようになったらと思う。
		○PTAとの連携 →PTA行事における教員への参加呼びかけ 行事におけるPTAの協力 ○保護者対象の講演会 →道徳授業地区公開講座10/11 体育・健康教育授業地区公開講座2/7	3.46	